

後任トシテ久留弘三ト提推乃專ラ會勢力ノ大拡張
ニ努メタル結果大正七年五月ニ至リ稍勢力挽回ヲ見
支部七ヲ設ケ會員數七百四十二名ヲ數フルニ至レリ。

一 大正八九兩年ニ於テハ會員ハ時ニ増減アリト雖モ約一千
名ヲ下シ終始不動ノ狀態ニテリ而シテ大正九年三月
財界ノ急變ハ事業ノ縮少休廢スルモノ相亞キ
勞働不安ノ狀態トナリ一般勞働運動ノ沈衰ト共
ニ會勢振ハズ總ニ現象維持ノ狀態ニ經過セシ
大正九年中ハ外部的行動ヲ避ケ内ニ會員ノ教育指
導ニ努メ階級意識ノ覺醒ヲ促スニ急ナルモノアリ
タリ

一 大正十年

一 大正十年四月末ニ於テ會員一千餘名ト称セルモ其實
會費ヲ納入スルモ僅々五百名内外ニ過キス殆ト凋落窮
境ニシテ最近勞働運動ノ趨嚮ニ促サレ一般勞働者
間ニ階級意識ヲ喚起セルモノト一面本年五月以降大電争
議以來關西ニ頻發セル勞働爭議ノ影郷音ヲ受ケ爭議
遂行手段トシテ友愛會ナル背景ノ存在ヲ有利トシ之ヲ利用
セハトスルノ有利傾向ヲ生シ友愛會ニテモ亦爭議勃發
時ヲ奇貨トシ會勢ノ扶植ヲ計リ入会ヲ條件トシテ應援
ヲ爲ス等ノ事情ノ下ニ會員ハ全盛時ニ於テハ一躍三千
余名ニ及ビタルモ其後半議終熄ヲ見ルト同時ニ脱退スル
實數二千余名ノ多數ヲ算シ且ツ産業別組合ニ革新セ
ル結果全員ヲ分離セル等ノ關係上今年九月從來ノ支部